

## 川内沢ダム建設事業に係る費用便益の検討結果について

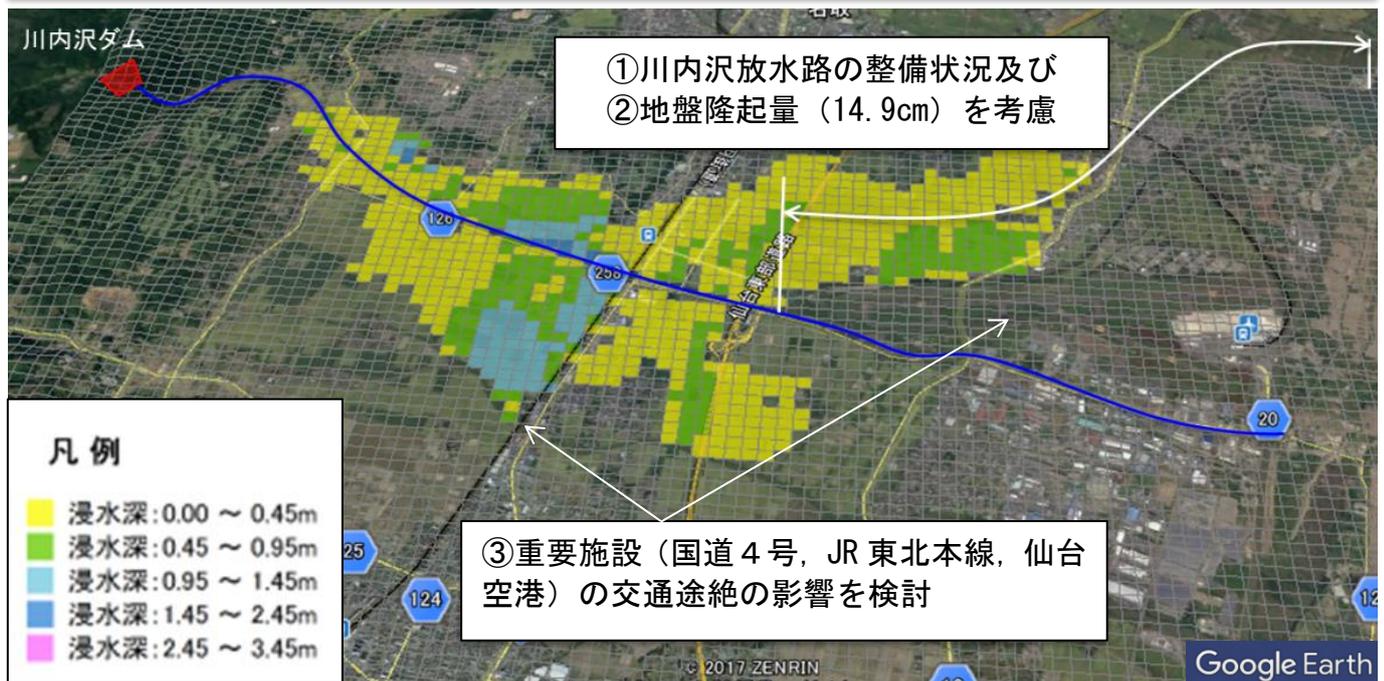
平成28年度公共事業評価部会における「今後の事業の実施に関する意見」への県の対応方針

費用便益の算出にあたっては、現行の算出方法に沿った分析を基本としつつ、治水便益にJR東北本線等、重要施設の被害額を計上するなど、より適切な手法の検討について関係機関との調整に努め、今後現行の算出方法が変更された場合には、速やかに対応する。

このことについて、治水便益について以下の変更点を踏まえ、費用便益を算出した結果を報告するもの。

＜平成28年公共事業評価部会時点からの変更点＞

- ① 平成27年5月に完成した川内沢放水路の整備状況を地盤条件へ反映
- ② 平成29年2月に公表された東北地方太平洋沖地震以降の地盤隆起量を地盤条件へ反映
- ③ 洪水による重要施設(国道4号, JR東北本線, 仙台空港)の交通途絶の影響を検討



※氾濫シミュレーション結果をGoogleEarthに重ねて表示。

## 検討結果

川内沢放水路の整備および地盤隆起量(14.9cm上昇)を考慮し、氾濫シミュレーションを実施した。

また、重要施設(国道4号, JR東北本線, 仙台空港)の洪水による交通途絶の影響を検討すると、国道4号の交通途絶が発生する結果となった。

これらを踏まえ、治水便益の費用対効果を算出すると、 $B/C=1.17$ という結果となった。